



Science & Global vol.20

出雲高校のSSH・SGHの取り組みを伝えるこの広報誌も、記念すべき第20号を発刊することとなりました。これまで、主体的・対話的・探究的に学ぶ生徒のたくさんの活動内容を伝えてきましたが、その成果が具体的な形となって表われ始めています。対外的なコンテストやコンクールに自主的に応募し、入賞する生徒。県外で開かれる学会に参加し、発表する生徒。地域のイベントの企画・運営スタッフとしてボランティア活動に励む生徒。形態は様々ですが、校外のそこかしこで本校生徒の活躍ぶりを目にするようになりました。SSH・SGHで育んだ「学び」は、具体的な「行動」となって実を結びつつあります。

★地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」で見事第3位（佳作）を受賞★

8月5日（土）、3年生が取り組んでいる課題研究班のうち、地域活性化について取り組んできた地8C班（3年8組の三原旦子さん、三島知也さん、古川佳代さん、高木なごみさん、三登太智さん）が、地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」で第3位となる佳作を受賞しました。このコンテストは福知山公立大学が主催し、「ニッポンの田舎を元気にする」というコンセプトのもと、全国の高校生から地域活性化策のアイデアを募集して、内容を競うものです。

今年度は、全国から130策の応募があり、地8C班の「美容福祉で地域活性化ができるか」という提案は、最優秀賞1作品、優秀賞1作品に次ぐ佳作に輝きました。班のメンバーは「自分たちが取り組んできたことが評価されて嬉しい。これを励みに次のステップに繋げていきたい」と喜びをにじませていました。



★島根県国際教育日本語弁論大会で見事最優秀賞を受賞★

8月8日（火）、浜田市の石央文化ホールで行われた第53回島根県国際教育日本語弁論大会で、2年8組の酒井裕太郎さんが最優秀賞にあたる島根県知事賞を受賞しました。酒井さんは、「未来につなぐために」という演題で、「持続可能な開発のために、日本において取り組むべきこと」について自らの意見を述べ、審査委員からも高い評価をいただきました。

酒井さんは、10月23日（月）に東京都で行われた第64回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会に島根県代表として出場し、堂々たる弁論を全国の舞台上で披露しました。



★島根県「青少年の主張」英語スピーチコンテストで見事2連覇を達成★

9月13日（水）、第10回島根県「青少年の主張」英語スピーチコンテストが松江北高校で行われ、本校からは2年8組の針貝奎輝ソフィアンさんと2年8組の景山まりなさんの2名が参加しました。このうち、針貝さんは、多くの友人たちとの関わりを通して考えた自分自身の決意について力強くスピーチし、堂々の第1位に輝き、昨年度に続いて見事2連覇を達成しました。針貝さんは、11月18日（土）に岡山市で行われる中国大会に島根県代表として参加します。



★京都大学でサイエンスリーダー養成研修を行いました★

10月14日（土）と15日（日）の2日間、京都大学桂キャンパスにおいて、本校卒業生の陰山洋教授、山本隆文助教の指導のもと将来の科学技術系人材を育成する「サイエンスリーダー養成研修」を行い、2年生4名が参加しました。最先端の実験機器を使用しながら実験を行い、合成した物質の分析を行いました。この研修を通じて、まさに「ホンモノの研究」を肌で感じることができ、参加した生徒たちにとってとても有意義な時間となりました。

参加した生徒からは、「この活動を課題研究に活かしたい」「将来は研究者の道へ進みたい」といった声が聞かれ、科学研究に対する意欲の向上や、科学的リテラシーの育成に繋げることができました。この活動で得たことを、普段の授業や課題研究に活かし、将来の「サイエンスリーダー」として活躍してほしいと思います。



★SGベーシックセミナー（国際的な社会課題をテーマとした教養講座）を行いました★

10月16日（月）、普通科1年生を対象に今年度第1回目の「SGベーシックセミナー」を行いました。このセミナーは、国際的な社会課題をテーマに、島根大学をはじめ外部機関から多数の専門家を招いて行う3回連続の教養講座です。

今年度は下記の10講座を開講し、生徒は自らの興味・関心に応じて講座を選択し、受講しました。第1回目となる今回は、それぞれの講師が専門性を生かした内容の講義を行ったほか、農業技術センターを訪問して視察やサンプリングを行った講座もありました。第2回目以降は、フィールドワークやグループディスカッションを通じて、生徒自らがそれぞれのテーマを自身の問題として捉え、発表などを行う予定です。



（開講講座）

- ①福祉経済論（島根大学法文学部 宮本恭子先生） ②国際経済論（島根大学法文学部 渡邊英俊先生）
- ③財政論（島根大学法文学部 関耕平先生） ④微生物生態学（島根大学生物資源科学部 巢山弘介先生）
- ⑤園芸学（島根大学生物資源科学部 江角智也先生） ⑥考古学（島根大学法文学部 岩本崇先生）
- ⑦日本語学（島根大学法文学部 野間純平先生） ⑧出雲国風土記の世界（古代出雲歴史博物館 吉永壮志先生）
- ⑨国際協力の現状（国際協力機構 岩田和美先生） ⑩地域活性化（神門通り魅りの会 田邊達也先生）

★SGパワーアップセミナー（グローバルに活躍する専門家による講演会）を行いました★

10月20日（金）、今年度第4回目となるSGパワーアップセミナーを行いました。今回は、本校卒業生であり、カンボジアでNPO法人テラ・ルネッサンスの活動を行う江角泰さんを招いて、1・2年生を対象に講演していただきました。

江角さんは「今ここで生きているから、未来を変える行動ができる」と題し、カンボジアでの多岐にわたる国際協力活動の取り組みを紹介してくれました。講演会後は、江角さんを囲んで座談会形式の意見交換会を行い、希望する28名の生徒が参加しました。生徒それぞれが今回の講演で学んだこと、考えたことを活かしながら、将来のグローバル・リーダーとして活躍してほしいと思います。



★島根大学の女性研究者を招いてSSパワーアップセミナーを行いました★

10月23日（月）、生物領域の研究に興味・関心を持つ生徒を対象に、SSパワーアップセミナーを行いました。今回は島根大学生物資源科学部生物科学科の初見眞知子准教授を講師にお迎えし、「生物学的「性」の意義～性はなぜ大切か～」と題し、有性生殖の意義や、生物によって異なる性決定様式、遺伝情報量の増加と減数分裂の失敗との関連など、高校の生物の授業でも扱う、生物進化に関わる興味深いお話をしていただきました。参加した生徒からは多くの質問が寄せられ、中には自身の課題研究に関する質問もありました。

このセミナーは今後も島根大学の女性研究者を順次お招きし、今年度は3回実施する予定です。



★第2学年普通科「課題研究」中間発表会を行いました★

11月7日（火）と8日（水）の2日間、普通科2年生が6月から取り組んできた「課題研究」のゼミ別中間発表会を行いました。両日とも島根大学をはじめとした外部指導教員の先生方を多数お招きし、ゼミ別に55のグループが研究の途中経過を発表しました。各班の発表後、外部指導教員から指導・助言をいただき、今後の研究活動に向けた課題を見つけることができました。



今後の予定

- 12月 2日（土） 【第1学年理数科】島根大学研修（2回目）
総合理工学部 石賀裕明教授による特別講義、生物資源科学部の研究室見学
- 12月 8日（金） 【第1・2学年希望者】SSパワーアップセミナー（3回目）
「マイナー生物研究のススメ」 講師：島根大学生物資源科学部 山口陽子特任助教
- 12月11日（月） 【第1学年普通科】SGベーシックセミナー（3回目）
10講座別に、3回の連続講座の振り返り、発表、意見交換、ほか